

NCC杯 第48回 長崎県ミニバスケットボール選手権大会
兼第55回 全国ミニバスケットボール大会長崎県予選
兼第44回 U12全九州バスケットボール大会長崎県予選における競技上の確認事項

2023年10月1日

長崎県バスケットボール協会U12部会

1. 競技規則

- ・「競技規則のまえがき」と「九州バスケットボール宣言」より
長崎県のバスケットボールの発展のために、プレーヤー・審判・指導者・観衆の四者の協力と積極的な努力を期待します。
- ・2023～バスケットボール競技規則による。ただし、ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点に準じる。

2. 開場時間とウォーミングアップについて

- ・開場時間は9時
- ・ウォーミングアップについては決められた場所と時間を守って行ってください。
- ・ゲーム前のアップは、前半に攻撃するコートでアップをお願いします。
- ・登録外選手が、コート上でアップに参加することや補佐をすることはできません。

3. メンバー確認・エントリー変更・スコアシートについて

- ・大会初日9時30分までに、本部席にある本部用パンフレットに朱書きをお願いします。
(各体育館・・・担当者 コート主任)
- ・スコアシートにメンバー表の記入をお願いします。前の試合のハーフタイムまでに、各会場で指定された場所で行ってください。

4. ユニフォームの色及びベンチ

- ・組み合わせ表の番号の若いチームが淡色(白)のユニフォームとし、ベンチはオフィシャル席に向かって右側とします。

5. チームベンチ

- ・チームベンチに入れるのは、コーチ1名、Aコーチ1名、選手15名、マネージャー1名、その他1名、計19名以内とします。
- ・スコアシートへのサインは登録されているコーチが行ってください。(A淡色チーム→B濃色チーム)

6. 試合球

- ・試合球は大会本部が準備するor各チーム持ち寄りとする。
ただし、審判が試合中に試合球として不相当だと判断した場合は、各チームから持ち寄った質の良いボールに変更することができる。

7. 前試合延滞時

- ・試合開始までに10分間を確保します。

8. コーチ証・選手証(JBA)

- ・JBA登録の資格を保有しているチーム関係者は、試合中、試合中以外もJBA登録証を装着してください。全チーム最初の試合の3分前に確認を行いますので、準備をお願いします。
- ・ヘッドコーチはJBAコーチ証(E級以上)を試合中必ず見える位置に装着してください。
- ・ベンチ内選手は、ゲーム中以外は選手ID(TeamJBAのIDカード)を装着させてください。
- ・試合中以外も会場内では装着してください。(IDカードとしての役目になります。)

9. 試合中の指揮

- ・ベンチ内で立ち続けて指揮を執る者は、コーチまたはAコーチのいずれかです。両者が同時に立ち続け

て指揮を執ることはできません。

- ・試合中に審判とコミュニケーションをとれるのはコーチのみです。
 - ・試合中に携帯電話で外部と通話することはテクニカルファウルの対象です。
- (ただし、緊急事態の場合除く)

10. タイムアウトの請求と取消(コーチまたはAコーチ)

- ・タイムアウトの請求については、TO席に出向いて、口頭と決められた合図で請求してください。「シュートが入ったらタイムアウト」と言う請求はありません。これはタイムアウトを請求したと誤解されてもしかたありません。
- ・タイムアウトの取消をする場合もTO席に出向いて口頭で取消を伝えてください。

11. 交代

- ・交代要員自身がすぐにゲームに出場できる準備をしてTO席に行き、直接スコアラーにはっきりと交代の申し出を伝えます。待機中は、交代席に座ります。
- ・コーチの申し入れは交代になりません。

12. トレーナー(トレーナーを置くチーム)

- ・スタッフ登録されている方は、チームベンチに座ってください。アップ等に参加することも可能です。ゲーム中の選手に対する処置については、ベンチエリア内で行えます。
- ・スタッフ登録されていない方は、自チームで準備したビブスを着用し、ベンチエリア外に設けたトレーナー席で待機してください。その場合は、ベンチに座ること、アップ等に参加することは認められません。ゲーム中の選手に対する処置については、トレーナー席周辺で行ってください。該当するチームがある場合はトレーナー席を設置しますので、事前に各会場のコート主任までご連絡ください。(会場によっては、トレーナー席を設置できない場合もあります。その際には、コート主任の指示された場所で待機するようお願いいたします。)

13. 怪我の対応

- ・特に脳震盪の疑い(頭部を床にぶつける)があると医師が判断した場合、監督及び選手が大丈夫だと言っても、直ちに選手を交代させ、同日のゲーム復帰は避けましょう。再出場や、翌日の試合に関しては医師の判断を仰いでください。
 - ・審判は頭部の接触がある場合には、できるだけ早い段階でゲームを中断します。
 - ・熱中症と思われる選手やその他の怪我についても対応もお願いします。
- *本大会は、各会場に医学委員会からドクターを配置する予定はありません。

14. インテグリティ(徹底事項)

- ・コーチのプレーヤーに対する暴言および暴力的行為は、「JBAプレーコーリング・ガイドライン」に基づき、テクニカルファウルの対象とします。
- ・コーチの振る舞いが映像で撮られる時代です。信頼あるコーチの姿を示しましょう。

15. 懲罰

- ・本大会は、規律委員会を設置する。
- ・本大会は、(一社)長崎県バスケットボール協会規律規程に則り、競技及び競技会に関連する違反行為に対して懲罰を適用する。また、競技中の危険なプレイ、故意の反則、マナー違反、その他大会運営に支障をきたす行為を行ったチームは、主催者の判断により、失格処分となる場合がある。(競技規則に準ずる)

16. 個人情報及び肖像権に関わる取扱

- ・本大会は、出場チームや選手に関する情報(個人情報含む)や、大会期間中に撮影された映像、肖像の取扱に関して、以下のように対応します。
 - ①本大会に関する映像、肖像等の著作権等は主催の県協会に帰属します。
 - ②大会エントリーやアンケート等により収集した情報は、主催者により厳密な管理の下、当協会が行う競技記録情報の作成および提供、告知宣伝活動、テレビ放送、大会公式サイト、大会公式プログラム等での使用を目的に展開します。また、当協会が承認した報道機関等への情報提供や取材活動により、各種報道媒体を通じ公開されることがあります。

- ③大会映像は、当協会が承認するテレビ放送、DVD制作・販売、動画配信にて公開されることがあります。
- ④参加申込書の提出により、上記取扱いに関する承諾を頂いたものとして対応します。

17. その他

- ・ 応援者(チーム関係・保護者・登録外選手)のマナー指導はコーチの責任です。小学校体育館での開催となるため、コートと観客席の距離が近くなることが予想されます。応援の仕方や観客席での振る舞いがふさわしくないと判断される場合は、規律案件となることもあります。また、大会中の不正な駐車、不正なID使用についても同様です。コート外でのインテグリティも意識してください。
- ・ ユニフォームについては、別紙参照
 - * 規定通りのユニフォームかどうかは、指導者が必ず確認してください。業者任せにしない方が良いでしょう。身につけるもの、テーピングについてもご確認ください。
 - 広告やスポンサー名が入る場合は、各県協会の承認を受けなければなりません。

装具について

装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことです。
病院で診察を受け、医師の処方(診断書)のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

装具の使用の際は事前に大会本部に診断書などをご提出し使用許可を得てください

○膝の装具



○足首の装具



○眼鏡



○鼻のプロテクター



プレーヤーが競技中に身につけられないものについて

○ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの



○スカーフスタイルのヘッドバンド



○無色透明以外のマウスピース



(メーカーロゴ、番号・名前が入っているものも着用不可)

○点滅するライト、反射素材や
その他装飾物が付いたシューズ



○ヘルメット



○商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、
ロゴやその他特定できるもの



○柔らかいパッドで覆われていても、
指、手、手首、肘や前腕の防具



○ヘアアクセサリや貴金属類



○固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材で作られているもの

○他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの(爪は短く切っておくこと)

プレーヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

マウスガード(無色透明)

ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、注意することはありません。

色の指定なし

チームで色を揃える必要があるもの

- 腕のコンプレッションスリーブ
- 脚のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア
- リストバンド
- ヘッドバンド
- サポーター類
- ヘアバンド
- 手甲

チームで色を揃える必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 膝の装具(※1)
- 足首の装具(※1)
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター
- テーピング
- マスク

※1/装具とは、骨折や術後の治療に必要な固定や免荷装具のごときで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

ソックスは上記と色を揃える必要無いです。選手全員で色を揃えること。例>ソックスは白、ロングタイツは黒でもOKです。

チームで色を揃える必要があるもの

○腕のコンプレッションスリーブ



○脚のコンプレッションスリーブ(パワータイツ)



○ヘッドバンド



○ヘッドギア



○ヘアバンド



○手甲



○リストバンド



○肩のサポーター



※最大10cmの幅で、繊維素材のもの
※紐が長く垂れすぎないこと

○膝のサポーター



黒色のサポーターとみなします



白色のサポーターとみなします



写真はパワーファインド社製のゲニトレンです。2トーンタイプのサポーターは、大部分で使用されている色そのサポーターの主となる色と判断します。

○足首のサポーター



○指、手および手首のサポーター



○腕・肘のサポーター



着用例

OK

① 腕のコンプレッションスリーブ(黒)+ヘッドギア(黒)

NG

② 脚のコンプレッションスリーブ(黒)+膝のサポーター(白)

⇒脚のコンプレッションスリーブとサポーター類は、色を揃える必要があるものです。

OK

③ リストバンド(白)+ヘアバンド(白)+膝の装具(黒)

⇒膝の装具は、リストバンドとヘアバンドと色を揃える必要がないものです。

全日本社会人連盟より

【眼鏡の使用について】

U12部会主催大会においては、眼鏡に必ずバンドをつけて落下する恐れがないようにすることを条件に使用を認めます。診断書の提出は必要ありません。